

■星野良悦 医師。自ら死刑犯を解剖して、彫工に日本初の骨格標本模型作成してもらい、大反響、幕府にも献上。

ほしのりょうえつ

山脇東洋解剖1754 =

山脇東洋が日本で初めて人体解剖を行った年に、安芸国広島で、祖父の代からの医家で繁盛していた外科医星野知近の子に生まれる。

大武政治批判1759 = 5歳：この年、東洋が解剖結果を「臓志」として刊行。

大岡忠光没・1760 = 6歳：

・・・1763 = 9歳：

御蔭参流行・1771 = 17歳：この年、前野良沢・杉田玄白らが人体解剖し、

田沼意次老中1772 = 18歳：

解体新書・・・1774 = 20歳：この年、「解体新書」を刊行。

・・・1781 = 27歳：

ある時、伯母が脱臼した際、多くの医者が戻せなかったところ、外科医田中道長がたちどころに治したため、その技術を教えてもらおうとするも秘伝と断られたことから、自ら骨格構造を知る必要性を悟り、

田沼意次失脚1786 = 32歳：

吉益東洞と親交の藩医恵美三白から贈られた「解体新書」を参考に、

異学の禁・・・1790 = 36歳：この頃、人体骨格模型(木骨)製作に着手、

混浴禁止・・・1791 = 37歳：*広島の刑場で打首となった海賊の一人を恵美三白と解剖し、もう一人を骨格標本として、彫工原田孝次の手によって丁寧に模型にすると、

松平定信引退1793 = 39歳：*検証のため江戸に出、桂川良元・杉田玄白にみてもらい、大喜びされ、多くの医者らが見に来、幕府医学館から特別に招かれて、木骨を展示説明し、大反響となる。帰藩して孝次に話すと喜んで、

ワヅカ 正月・1794 = 40歳：_もう一体の木骨を製作し、

蝦夷地直轄始1799 = 45歳：

伊能測量始・1800 = 46歳：*その木骨を幕府に献上、

宣長没・・・1801 = 47歳：_広島藩主に拝謁の栄誉を得、

膝栗毛始・・・1802 = 48歳：*幕府から賞金三十両を賜った直後、孝次の後を追うように、没した。

「人づくり風土記(広島)」,「本朝医人伝」,